

# 平成22年度計画及び 第1期中期目標に係る主な取組

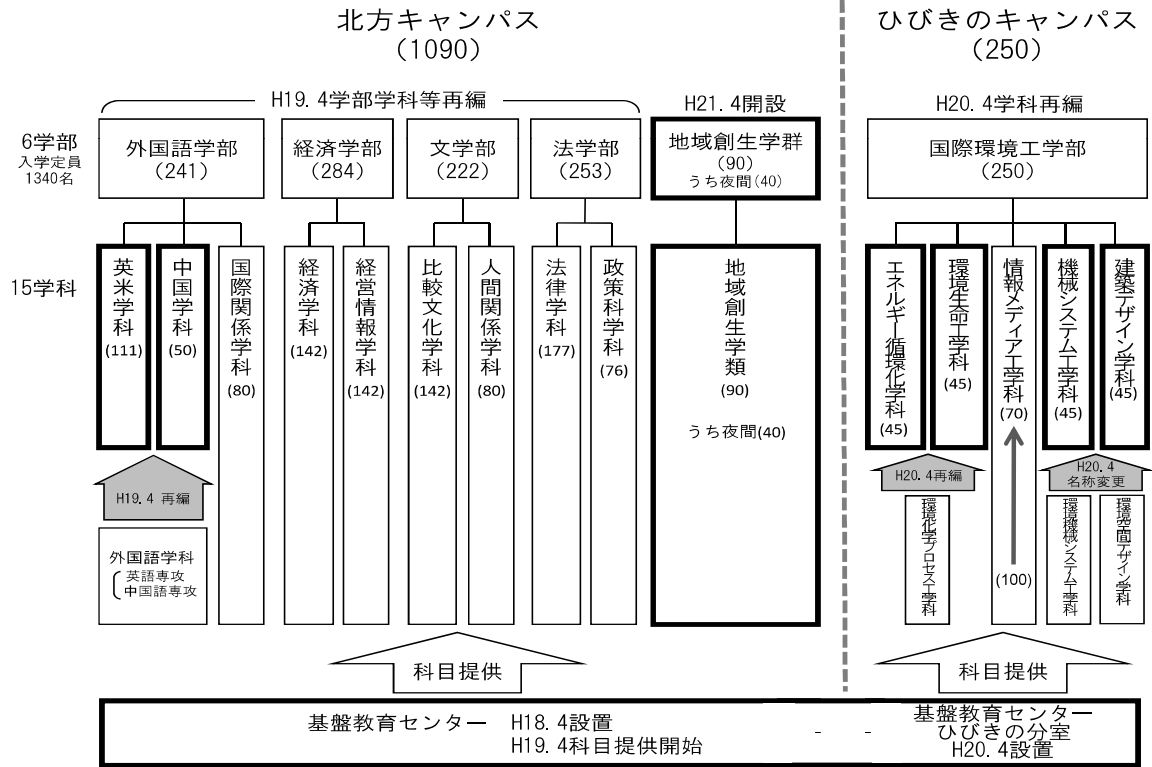
## — 目 次 —

< 教 育 >	・ ・ ・ ・ ・	1 ページ
< 研 究 >	・ ・ ・ ・ ・	9 ページ
< 地域貢献 >	・ ・ ・ ・ ・	10 ページ
< 管理運営 >	・ ・ ・ ・ ・	13 ページ

## < 教 育 >

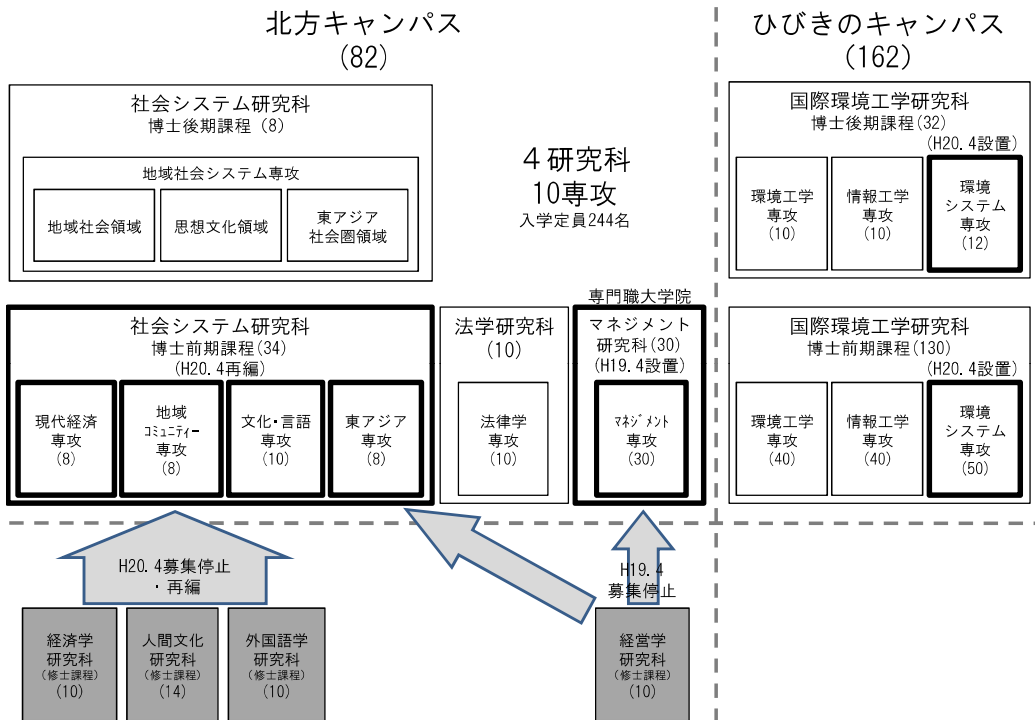
次ページへ

# 学部・学科等再編



(注) ( ) は入学定員  
 (注) 外国語学部外国語学科はH19. 4募集停止、国際環境工学部環境化学プロセス工学科はH20. 4募集停止  
 (注) 文科系4学部の夜間主コースはH21. 4募集停止

# 大学院再編

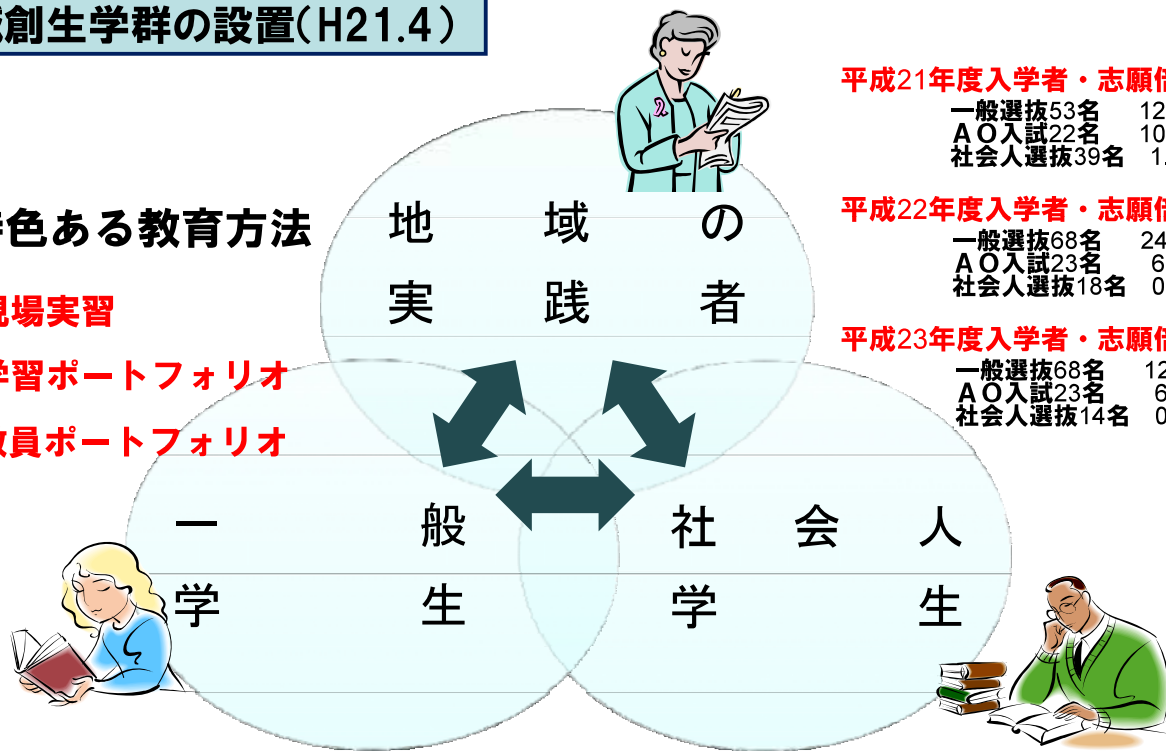


(注) ( ) は入学定員

## 地域創生学群の設置(H21.4)

### 特色ある教育方法

- ①現場実習
- ②学習ポートフォリオ
- ③教員ポートフォリオ



実習先の企業や福祉施設、NPOなどで、実践的に活動されている方を大学に招き、学生とのディスカッションを通じて現場で生じている現実課題の理解を促進する。また、実践者とも言える社会人学生も加わり、多様な視点から地域をとらえながら、理論と実践の融合をはかる。

## 入試から就職まで一貫した教育システムの構築

- ①入試センターの設置 (H18)
- ②基盤教育センターの設置 (H18)
- ③キャリアセンターの設置 (H18)
- ④学生サポート委員会 (H19)
- ⑤学生プラザの設置 (H19)
- ⑥入試広報センターの設置 (H21)
- ⑦地域共生教育センター (H22)

## 教育の質の向上（FD）－北九州市立大学方式

### 1. FD（FACULTY DEVELOPMENT）の北九州市立大学方式

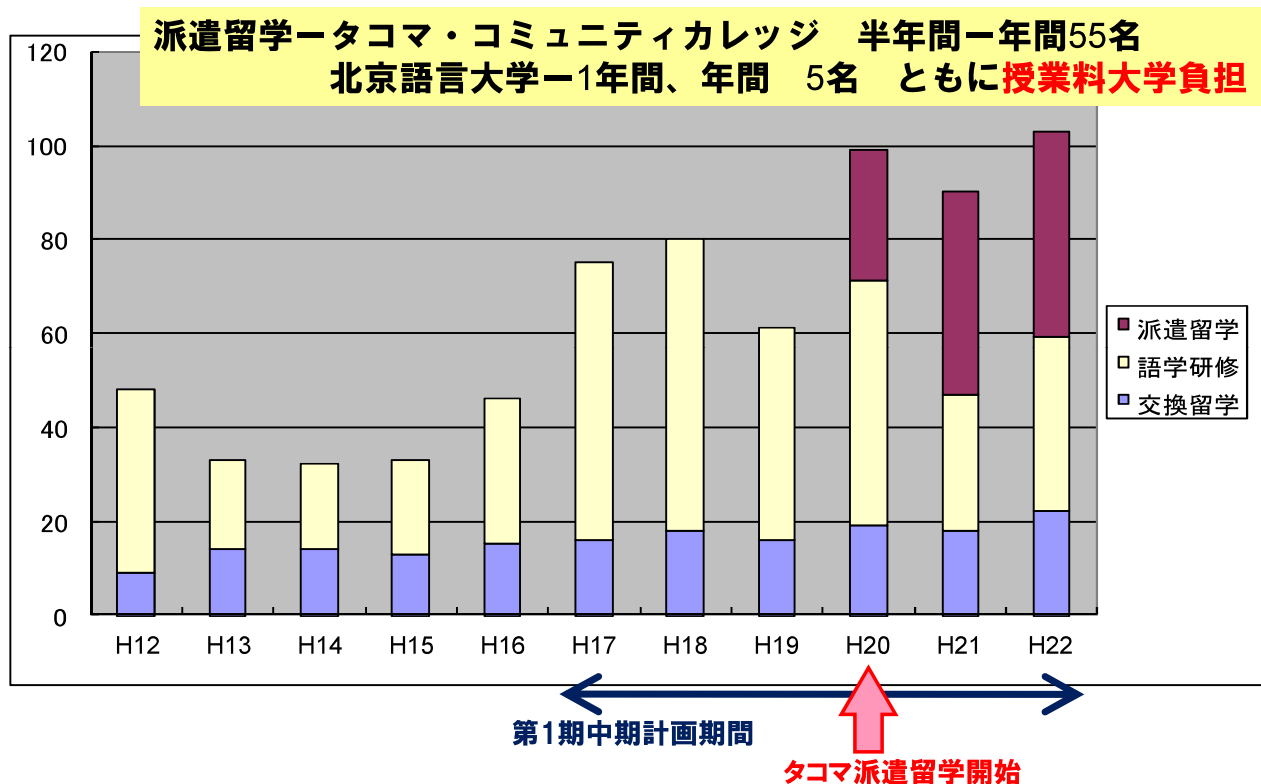
（H18 FD委員会設置、H20 教育開発支援室設置）

- ①学生の授業評価（授業アンケート） ②新任研修の徹底（4月、8月）
- ③授業公開 ④授業のピアレビュー（全学部・学科）
- ⑤FDセミナー ⑥教員活動報告書の公開

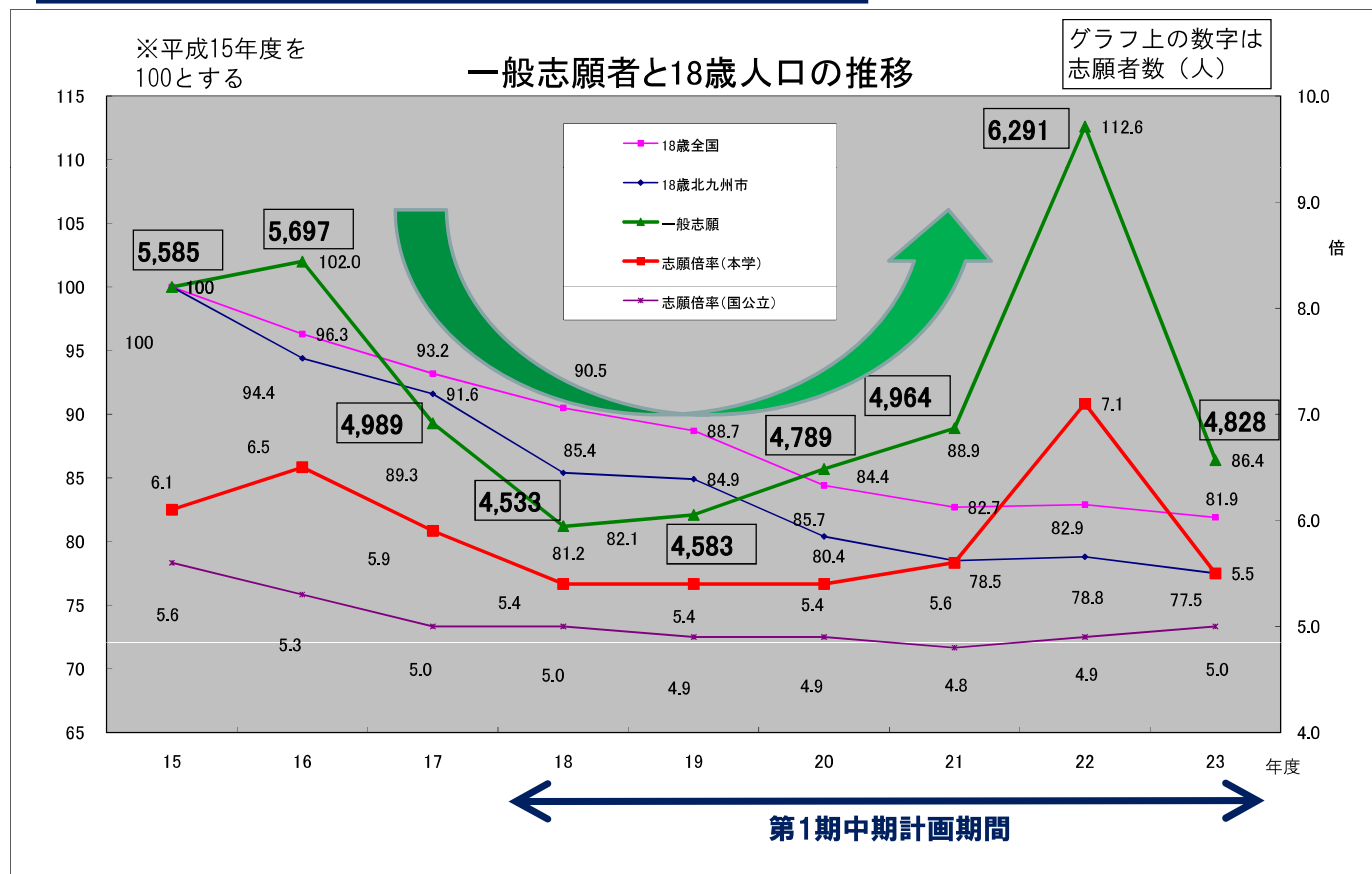
### 2. その他のFDの取組

- オフィス・アワー（H18）
- 新カリキュラムの導入（H19）→ 検証・改善、演習・少人数教育強化
- シラバス作成の統一（H20）→ **電子化への取組（H22システム化）**
- OGPA（GRADE POINT AVERAGE）制度の北方キャンパスへの導入（H19）（H13ひびきの）
- 優秀な学生の表彰制度実施（両キャンパス（H21北方、H16ひびきの））
- 卒業生アンケート調査（H21）

## 海外留学の増加 北九州市立大学海外留学数推移



## 学生の受け入れ 一般志願者数推移

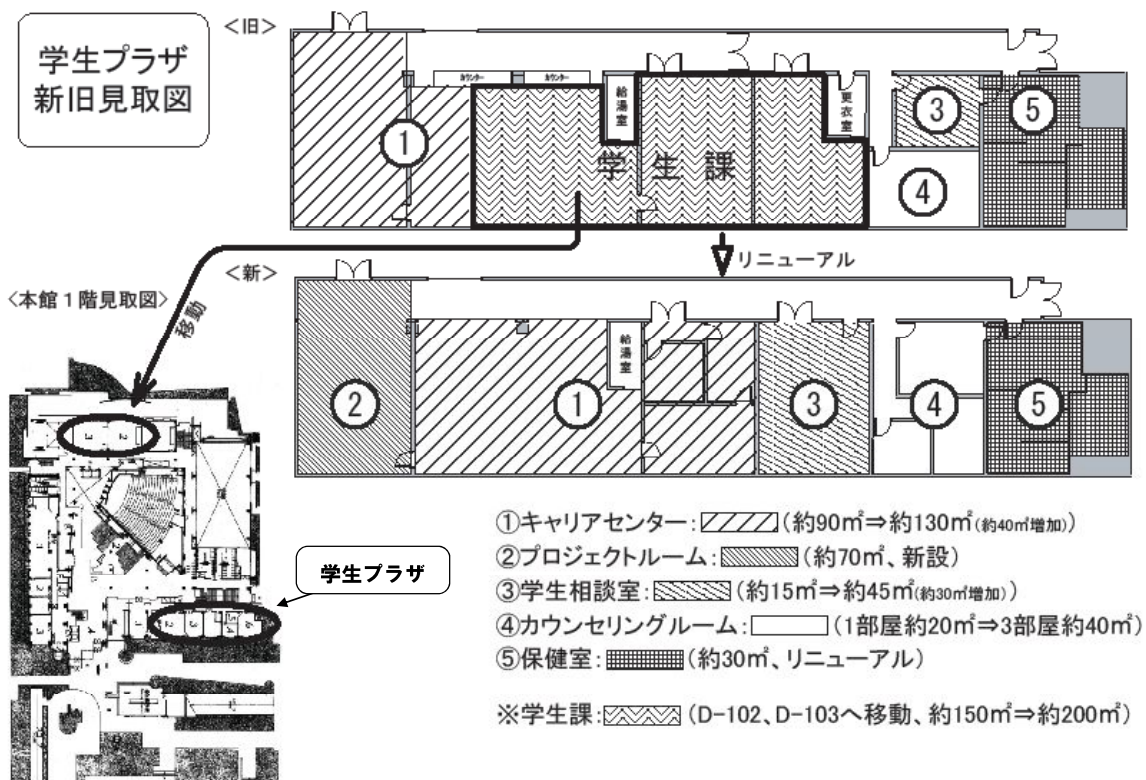


## 入試広報活動実績—H17～H22年度

取組内容	H17	H18	H19	H20	H21	H22
1. オープンキャンパス	3,400人	3,600人	4,413人	4,763人	5,144人	5,565人
2. 進路指導担当者懇談会	168校	175校	172校	167校	161校	151校
3. 高校進路指導担当教員との意見交換会	—	12校	12校	19校	21校	22校
4. サマースクール	241人	270人	165人	249人	267人	245人
5. ガイダンス IN 鹿児島	83人	152人	90人	130人	74人	81人
6. ガイダンス IN 広島	—	—	—	81人	64人	77人
7. ガイダンス IN 宮崎	—	—	—	—	118人	104人
8. 出張講義・高校訪問	40校	227校	304校	389校	146校	138校
9. 進学ガイダンス	28箇所	62箇所	100箇所	133箇所	60箇所	49箇所
10. 大学訪問	1,566人	1,909人	2,251人	2,825人	2,236人	3,199人

○スカラシップ入試制度：一般入試選抜成績上位者10%を対象に入学金半額減額  
(適用者 H22入学 74名、H23入学 77名)

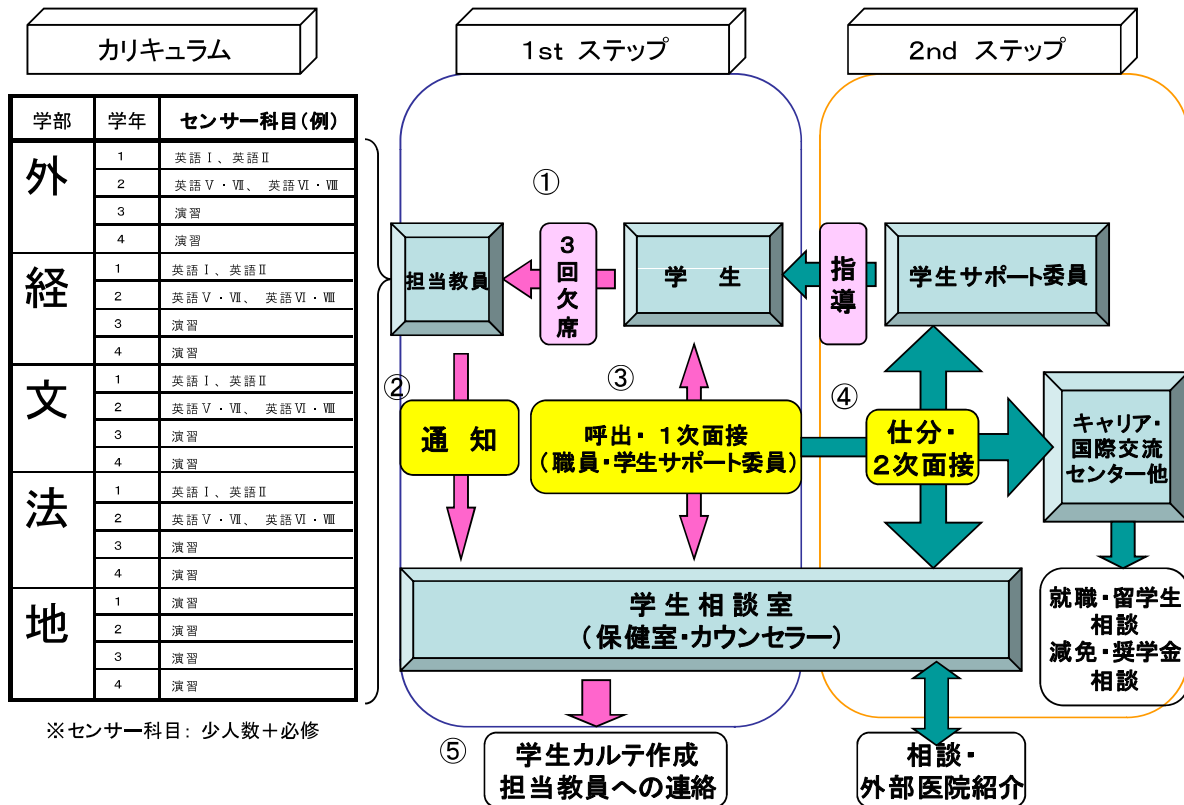
## 学生支援体制の強化 学生プラザの開設 (H19.10)



## 学生プラザの利用実績

学生プラザ 利用者数		H18-19 10.1~3.31	H19-20 10.9~3.31	H20-21 4.1~3.31	H21-22 4.1~3.31	H22-23 4.1~3.31
キャリア C	キャリア センター	—	5,906	11,439	10,981	10,470
	プロジェクト・ ルーム	—	4,940	9,350	9,496	9,023
	小 計(a)	—	10,846	20,789	20,477	19,493
学生 相談室	学生なんでも 相談窓口	351	831	1,706	2,207	1,601
	カウンセリング ルーム	311	339	884	930	852
	保健室	1,938	2,954	6,101	5,845	5,661
	小 計(b)	2,600	4,124	8,691	8,982	8,114
合 計(a+b)		—	14,970	29,480	29,459	27,607

# 学生早期支援システム



H21年入学者を対象とした早期支援システムの結果 ⇒ 留年者 41%減少

区分	対象者数	問題別内訳						
		生活	修学	進路	健康	心理	他	
H21	前期	20	12	4	1	8	3	1
	後期	29	18	9	1	6	3	0
H22	前期	36	19	14	2	4	5	1
	後期	19	9	8	1	2	3	1

## 北方3学部 入学年度別 進級留年者推移

H18年度入学生 75人

### ◆H19 早期支援制度導入

H19年度入学生 45人

H20年度入学生 48人

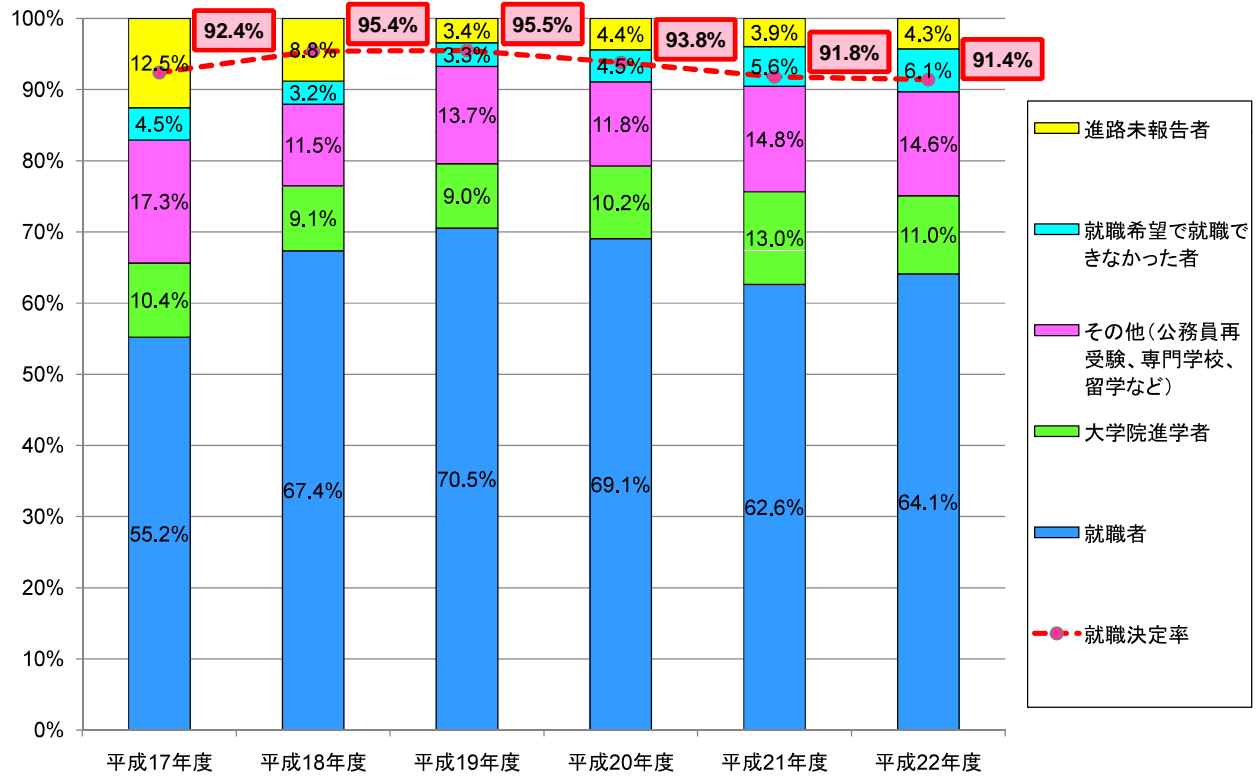
H21年度入学生 44人

⇒ (H18年度比△31人)

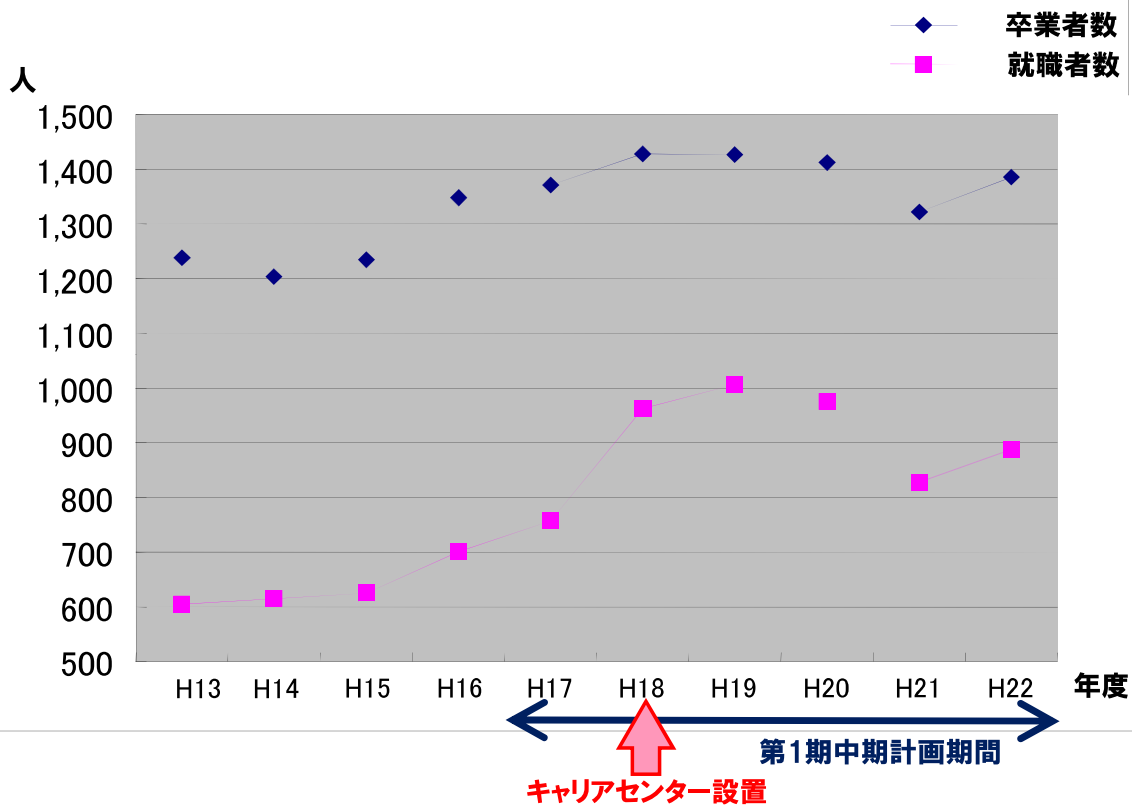
平成21年8月8日(土)読売新聞 夕刊 8頁



## 卒業生の進路別推移及び就職決定率の推移

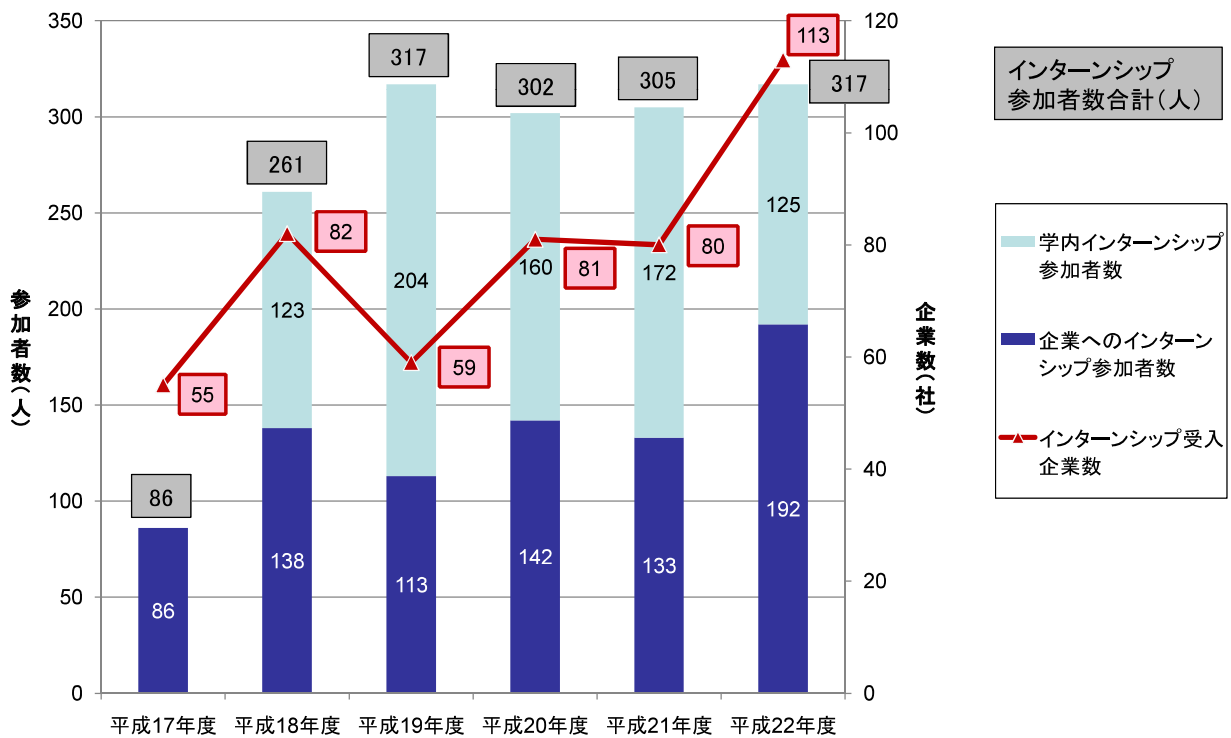


## 卒業生数と就職者数の推移





## インターンシップ参加者数及び受入企業数の推移



## 地域共生教育センター(421Lab.)

【参加】外国語学部  
経済学部  
文学部  
法学部  
国際環境工学部  
地域創生学群

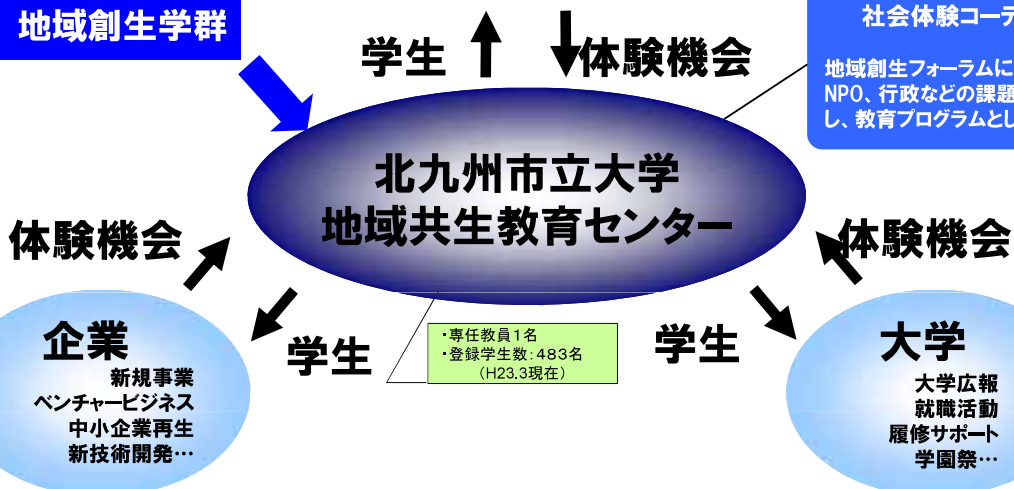
### 地域社会

まちづくり  
教育支援  
観光施策  
福祉関連  
スポーツ振興…

H22 プロジェクト件数:24件

### プロジェクト(例)

\*北九魂ースピリット…CROSS FMの番組の1コーナーを担当し、番組企画立案、取材等をプロデューサーの指導を仰ぎながら実施。  
\*城南中学力UPプロジェクト…家庭での学習習慣が確立していない生徒の基礎学力の確立及び学習意欲の向上を目指す事業に協力するプロジェクト。一人での自習が困難な生徒を対象に教員と共同で学習をサポート。



様々な社会体験機会を創出する「地域共生教育センター」を平成22年4月に設置した。コーディネーターを配置し、学生にとって効果的な機会かどうかを見極め、正課内外の教育プログラムとして学生に提示する。「地域創生を実現する人材育成システム～地域を復活させる地域創生力開発～」:大学教育改革支援プロジェクト(文部科学省)採択事業

# < 研究 >

## 研究実績

### ○知的クラスター創成事業

#### ◆知的クラスター創成事業（第1期）：平成14～18年度

「アプリケーションSoC」分野における「アナログ・デジタル混載LSI設計環境に関する研究」など

#### ◆知的クラスター創成事業（第2期）：平成19～23年度

「画像及びマイクロ波を用いた知的センシング技術の研究」など

### ○戦略的創造研究推進事業（CREST）

文部科学省の補助事業である戦略的創造研究推進事業（CREST）に採択された「DDS粒子のナノ界面と鳥インフルエンザワクチン等への応用」（平成20～25年度、総額約223,000千円）

### ○「九州広域クラスターの推進」事業における成果

①北九州ヒューマンテクノクラスター構想（北九州市・学術研究都市地域）と②システムLSI設計開発クラスター構想（福岡県・福岡地域）が連携して実施する「九州広域クラスターの推進」（システムLSI設計開発拠点の形成）事業において、北九州地域の研究統括として参画した国武副学長（当時）が、平成19年度にその功績が認められ、「産学官連携功労者表彰（文部科学大臣賞）」を受賞。

### ○技術開発センター群

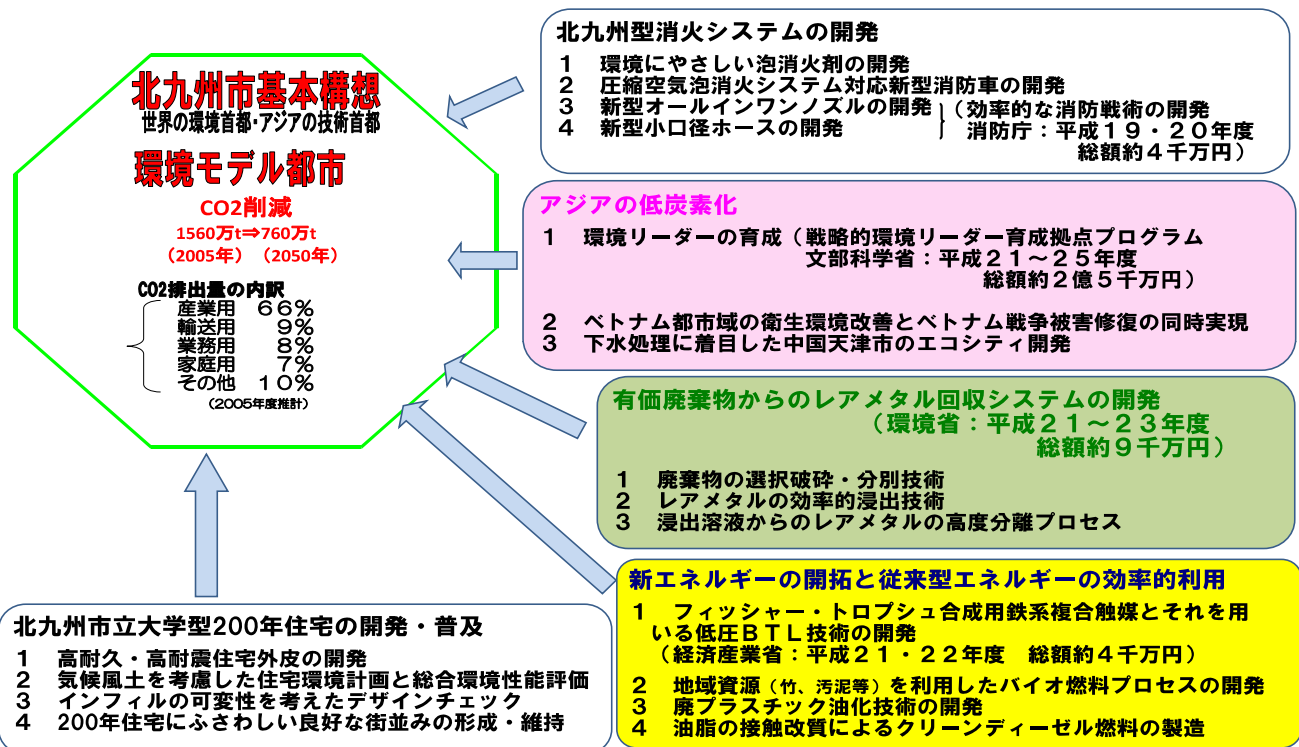
エコデザイン研究センター、循環技術研究センター、地域エネルギー環境開発、集積システム設計環境開発センター、アクア研究センター、国際連携環境研究センター、環境・消防技術開発センター、6年間で7つのセンターが活動。

※ 環境・消防技術開発センターにおける、環境技術と消防防災技術を最大限に活かす技術開発の拠点づくり、「少量量型消火剤」の研究が「産学官連携功労者表彰（総務大臣賞）」を受賞。

### ○その他の学際的・先端的研究の実施

本学教員（国武副学長）による「人工の細胞膜の合成に関する研究」が世界的に注目された研究として認められ、平成19年度に文化功労者に選出された。

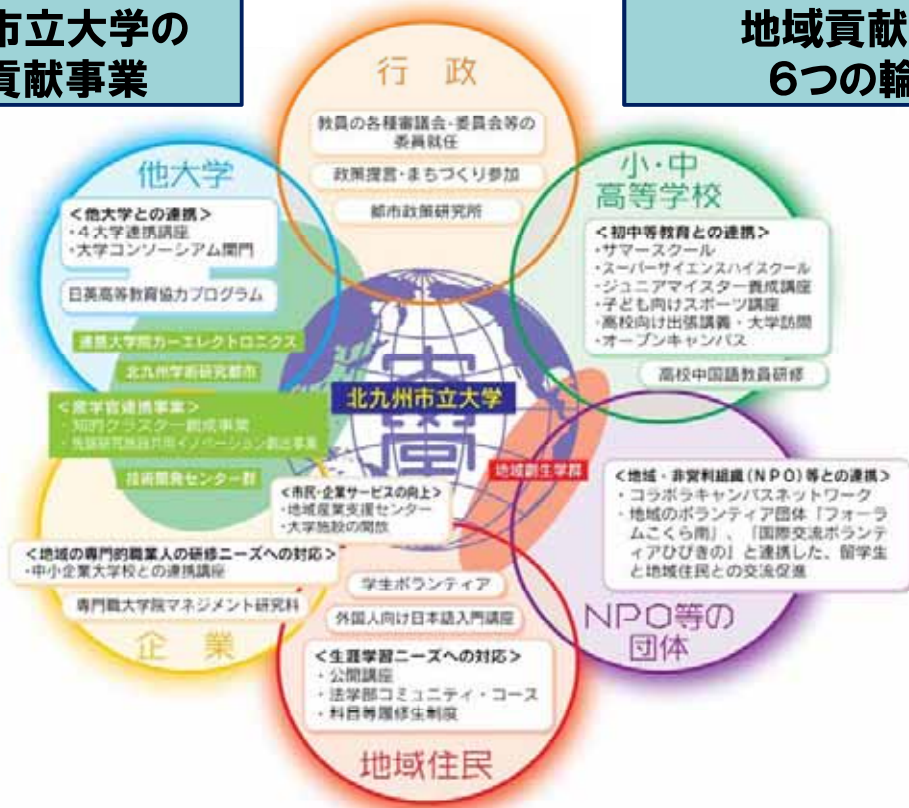
## 北九州市立大学発 「環境モデル都市」支援プロジェクト



# < 地域貢献 >

北九州市立大学の  
地域貢献事業

地域貢献の  
6つの輪



## 生涯学習

公開講座実施状況

年度	区分	期間	テーマ	講義回数	募集人員	応募者数	決定者数	延受講者数
H17	春期公開講座Ⅰ	5/28～7/16	英米文学のふるさと	8	100	215	215	1,147
	春期公開講座Ⅱ	6/18～8/13	歴史学の最前線—欧米における歴史研究のゆくえ—	8	100	158	158	851
	秋期公開講座Ⅰ	10/8～12/10	戦後60年の軌跡—選歴を迎えた国際社会	8	50	186	186	1,040
	秋期公開講座Ⅱ	10/13～12/1	グローバル化と地域社会の変貌	7	50	31	31	131
	秋期公開講座Ⅲ	11/19～1/14	北九州市場大学	5	30	30	30	55
年度計				36	330	620	620	3,224

年度	区分	期間	テーマ	講義回数	募集人員	応募者数	決定者数	延受講者数
H21	公開講座第1期1	5/23～8/29	20世紀の光芒—日本の軌跡・世界の軌跡	14	100	283	283	2,394
	公開講座第1期2	6/11～7/30	マンガ史入門2	8	50	46	46	277
	公開講座第1期3	7/4～8/15	食品学入門～安全・安心な食生活を育むために～	6	50	90	90	363
	公開講座第2期4	7/26	中学生ベースボールスクール	1	100	80	80	80
	公開講座第2期5	8/25	ちびっこふれあい柔道教室	1	50	61	61	61
	公開講座第2期6	8/22～10/17	環境と住まいを考える	8	50	75	75	381
	公開講座第2期7	8/29～10/3	地域創生学入門その2～分かちあう人・モノ・ころ～	6	80	100	100	384
	公開講座第3期8	10/10～12/5	私の異文化体験—外から見た日本	8	60	141	141	735
	公開講座第3期9	10/24～12/26	英米文学のふるさとV	9	100	135	135	835
年度計				61	640	1,011	1,011	5,510

年度	区分	期間	テーマ	講義回数	募集人員	応募者数	決定者数	延受講者数
H22	公開講座第1期1	5/22～7/10	上海万博実践中国語会話	8	40	58	58	339
	公開講座第1期2	5/27～7/29	日本の学校における英語コミュニケーションスキルの指導法	10	16	32	32	146
	公開講座第1期3	5/29～7/17	英米文学のふるさとVI	8	100	166	166	908
	公開講座第1期4	6/5～7/24	メディア英語 読むこと・聞くこと・話すこと・・・考えること	8	30	24	24	103
	公開講座第2期5	7/31,8/1	中学生ベースボールスクール	2	100	112	112	112
	公開講座第2期6	8/23	ちびっこふれあい柔道教室	1	50	58	58	58
	公開講座第2期7	7/24～9/18	食品学入門Ⅱ～賢い消費者になるためには～	8	90	113	113	622
	公開講座第2期8	7/30～8/27	【企画講座】ソーシャルビジネス入門	4	30	45	45	242
	公開講座第2期9	7/31～10/16	【企画講座】中国語検定試験対策特別講座	10	20	22	22	175
	公開講座第2期10	8/7～9/25	20世紀の光芒Ⅱ	7	100	59	59	271
	公開講座第3期11	10/9～12/18	20世紀の光芒Ⅲ	10	50	158	158	1,006
	公開講座第3期12	9/25～12/18	北九州市立大学をばねに活躍する人々	10	100	146	146	721
	公開講座第3期13	10/30～12/25	【企画講座】脱中級！上級を目指す英語学習	8	15	112	42	233
年度計				94	741	1,105	1,035	4,936

## 市民連携

平成21年11月16日(月)  
日本経済新聞 朝刊 26頁



	総合	「住民」項目
H18	2位	1位
H19	8位	14位
H20	1位	2位
H21	2位	1位
H22	13位	1位

※調査項目:「組織・制度」、「学生」、「企業・団体・行政」、「住民」の4項目  
※調査回答数:H18-201校、H19-455校、H20-470校、H21-469校、H22-517校

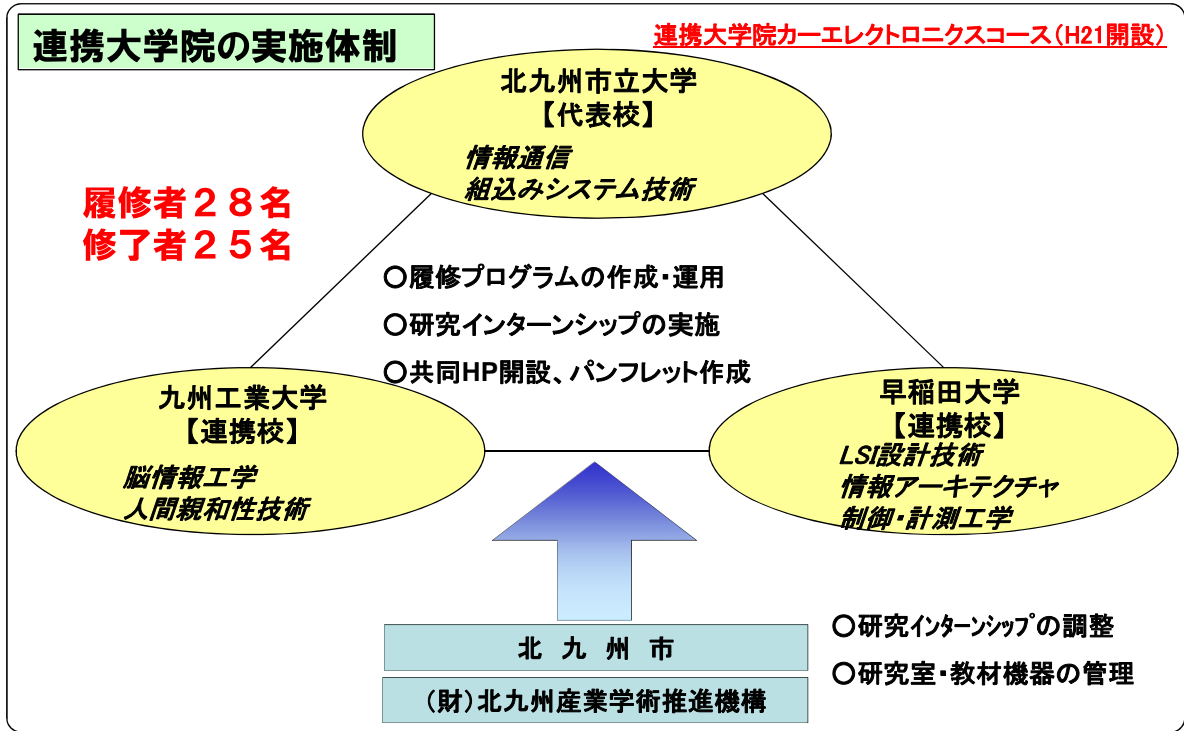
## コラボラ（菜園活動）

## まちづくり支援 — 教員の地域貢献活動

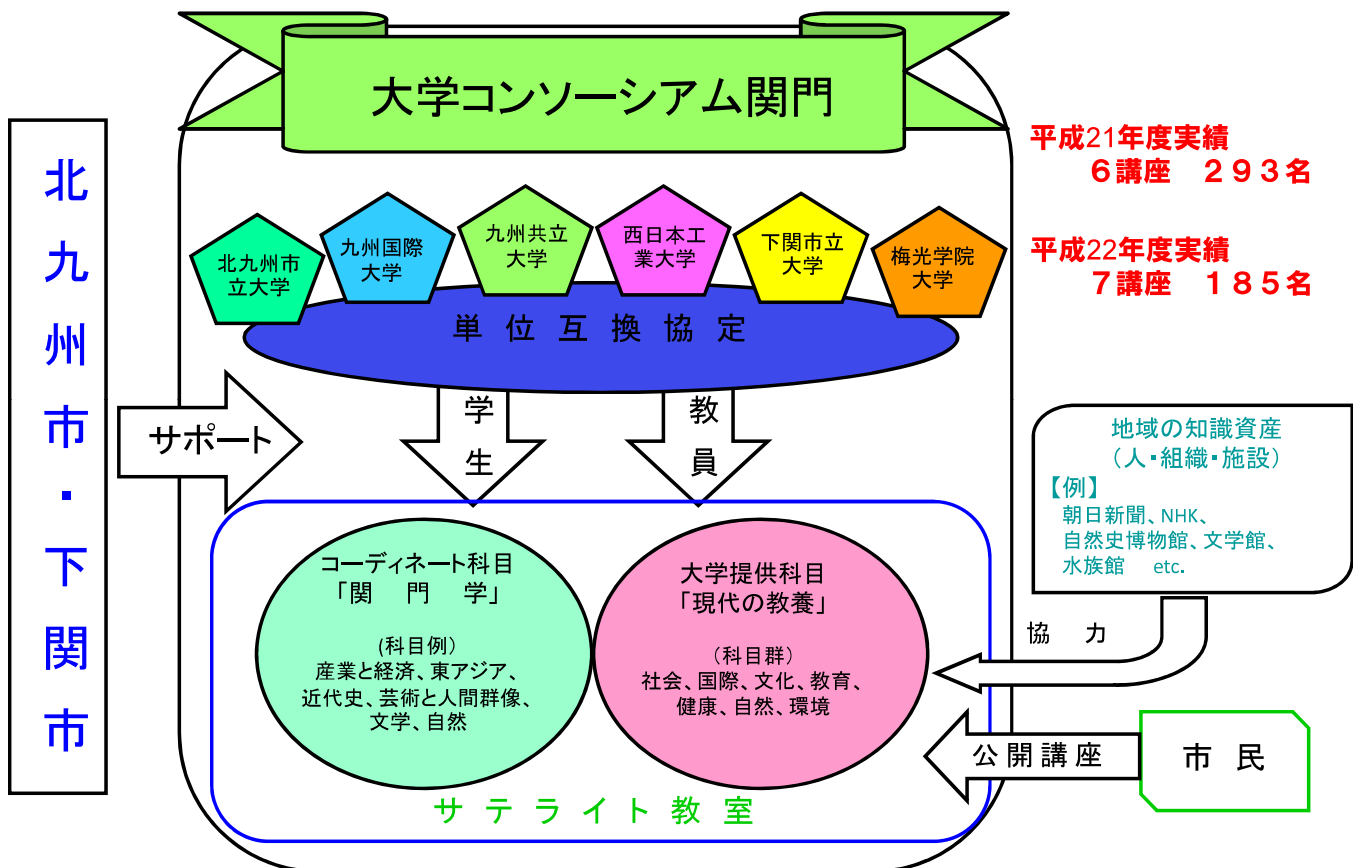
### ○本学教員の研究による地域への貢献

- ① 竹林保全活動（国際環境工学部・デワンカー准教授）
- ② シンポジウム「集合住宅サミットin北九州・大蔵」の開催（法学部・楢原教授）
- ③ デザインを通じて商店街の活性化を図る「黒崎まちなかプロジェクト」（国際環境工学部・赤川准教授）
- ④ 「子どもの心の居場所」を目指す子ども向け専用電話「チャイルドライン北九州」（文学部・河嶋教授）
- ⑤ 新しい街づくりを実践する文化拠点「大學堂」（文学部・竹川教授）
- ⑥ 北九州市立自然史・歴史博物館と連携した所蔵資料の整理、展示（文学部・八百教授）
- ⑦ 松本清張記念館の運営への参画（文学部・赤塚教授）
- ⑧ 門司港栄町銀天街「昭和レトロ館」の運営への参画（文学部・須藤教授）
- ⑨ 団塊世代と大学生による世代間交流プロジェクトと「夢追い人Ⅰ・Ⅱ」の発行（マネジメント研究科・城戸准教授）
- ⑩ 希少金属回収を目的とした通信機器の収集（都市政策研究所・松永准教授）
- ⑪ 社会福祉協議会やNPO等と連携した「地域づくりに関する研究」（都市政策研究所・石塚教授） H22
- ⑫ WeLove小倉協議会への参画（地域創生学群・真鍋准教授及び片岡准教授） H22

# 北九州学術研究都市連携大学院による カーエレクトロニクスコース高度専門人材育成拠点の形成



## 大学コンソーシアム関門 概要図

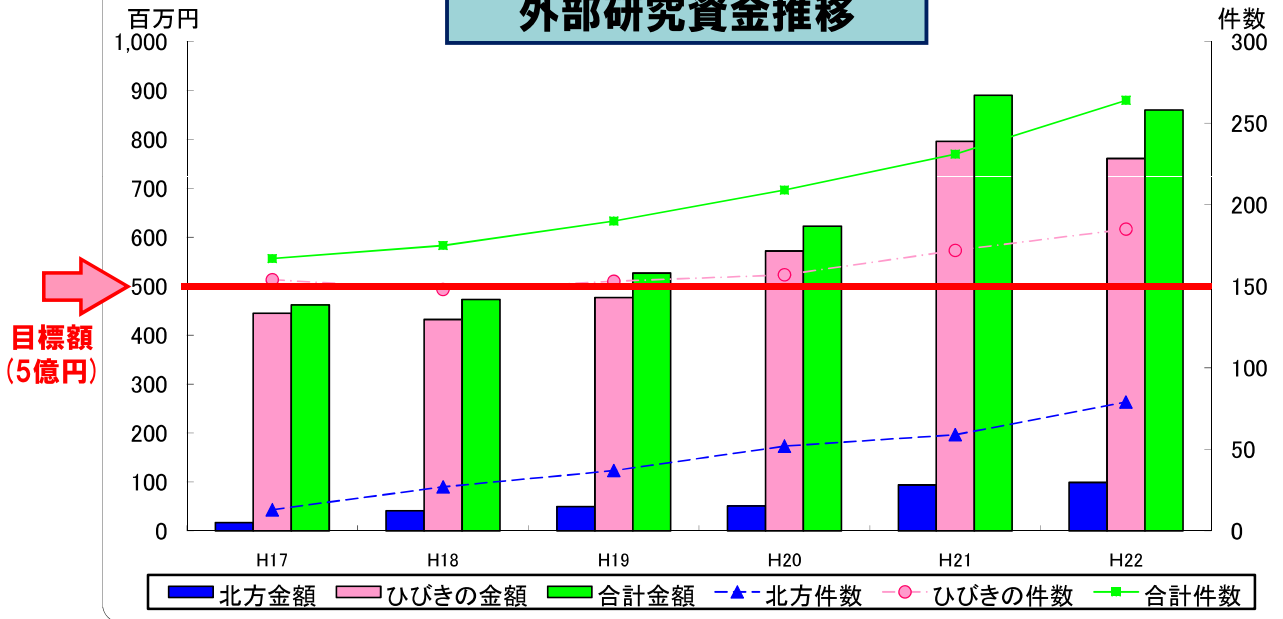


## < 管理運営 >

### 教員人事システムの改革

1. 教員選考体制の変更 - 教授会から教育研究審議会へ (H17)  
公開公募、論文、面接、模擬授業、昇任基準明確化
2. 教員定員規制の緩和
  - ①教授枠の拡大 (H17)
  - ②教員体制の充実 (H18 キャリアセンター開設、H19 BS開設)
3. 語学教師ポストの常勤化 (H17)  
外国人教員の増強(H17 19名 →H22 28名)
4. 学部・学科再編と教員の再配置、教員増(H17 230名 →H22 269名)
5. 特任教授制度の採用—BS (H19開設)、地域創生学群 (H21開設)
6. 女性教員の採用増加、6年間で倍増 (H17 21名 →H22 43名)
7. 任期制度の限定的適用—工学部、大学院、異文化言語等
8. 教員評価制度の定着、教員活動報告書の提出と公開  
(H13～ひびきの、H17～北方、H20 制度改正)

## 外部研究資金推移



(金額: 百万円)

区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22
金額	462	473	527	623	890	860
北方	17	41	50	51	94	99
ひびきの	445	432	477	572	796	761
件数	167	175	190	209	231	264
北方	13	27	37	52	59	79
ひびきの	154	148	153	157	172	185

## 科学研究費補助金の獲得状況

